

第48回

水工学に関する夏期研修会

主催：公益社団法人 土木学会（担当：水工学委員会，海岸工学委員会）

共催：公益社団法人 土木学会 北海道支部

期日：2012年8月27日(月)～28日(火)の2日間

(A・Bコース並行開催)

場所：北海道大学工学部B31講義室およびB32講義室

(札幌市北区北13条西8丁目)

アクセスマップURL

<http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap/>



本研修会は土木学会のCPD
(継続教育)プログラムと
して認定されています。

日程および講義題目・講師 (注) 講義題目には若干の変更がある場合があります

Aコース(河川・水文) [行事コードNo.23202]

《総合テーマ》：「大規模水害の減災技術」

Bコース(海岸・港湾) [行事コードNo.23203]

《総合テーマ》：「数値波動水槽
－波浪計算の深化と耐波設計の革新を目指して－」

■ 8月27日(月)

9:15～ 10:45	Common MPによる流出計算 菊森佳幹 (国土技術政策総合研究所 河川研究室)
11:00～ 12:30	総合洪水解析システム(IFAS)による 水文データ不足流域における洪水解析 深見和彦 (土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター)
13:30～ 15:00	iRICによる河川シミュレーション(1) iRIC基本コンセプトと三次元ソルバー 木村一郎 (北海道大学 工学研究院)
15:15～ 16:45	iRICによる河川シミュレーション(2) Nays2DとNays2DFLOODの説明・事例紹介・デモおよびiRICの今後の展開 川村里実 (北海道大学 工学研究院)
17:00～ 18:30	河川計画立案手法の現状と今後の展望 泊 宏 (国土交通省水管理・国土保全局 河川計画課)

■ 8月27日(月)

9:15～ 10:45	自由表面流れの概要，基礎方程式と 離散化および応用例 森 信人 (京都大学防災研究所)
11:00～ 12:30	VOF法による数値波動水槽 川崎浩司 (名古屋大学大学院工学研究科)
13:30～ 15:00	セミラグランジュ的移流計算法 －CIPなどセミラグランジュ計算の基礎，今後の展開－ 陸田秀実 (広島大学大学院工学研究院)
15:15～ 16:45	高精度粒子法 －数値波動水槽のための粒子法の高度化－ 後藤仁志 (京都大学工学研究科)

■ 8月28日(火)

9:15～ 10:45	石狩川治水百年の歴史と流域の発展 鈴木英一 (北海道大学 工学研究院)
11:00～ 12:30	近年発生している極端現象とその予測手法 山田朋人 (北海道大学 工学研究院)
13:30～ 15:00	十勝川千代田実験水路における 越水破堤実験 柿沼孝治 (土木研究所 寒地土木研究所)
15:15～ 16:45	ダム管理の高度化に向けて 鳥居謙一 (国土技術政策総合研究所 河川研究部)

■ 8月28日(火)

9:15～ 10:45	漂砂の計算法と今後の展望 岡安章夫 (東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科)
11:00～ 12:30	海岸構造物の耐波設計と数値波動水槽の活用 伊藤一教 (大成建設)
13:30～ 15:00	DEMIによる漂砂過程および耐波設計 に関する応用計算 原田英治 (京都大学工学研究科)
15:15～ 16:45	統一ベンチマークテストによる 数値モデルの特性評価 渡部靖憲 (北海道大学大学院工学研究科)

定員：Aコース150名，Bコース150名

受講料：1コースにつき，一般16,000円，学生・院生13,000円(いずれも講義集代を含む)

申込方法：土木学会ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

もしくは、FAX(学会誌巻末に掲載されている「本部行事参加申込用紙」)をご利用下さい

申込締切日：2012年8月17日(金)【必着】

締め切り日以降は，原則として行事当日会場にて受付致しますが，定員に達している
場合がありますので，事前に下記へお問合わせ下さい

問合せ先：土木学会 研究事業課 TEL:03-3355-3559(担当:岩西)

備考：会場の詳細，講義の変更等の最新情報に関しては，下記ホームページでご確認ください

水工学委員会ホームページ <http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/>

海岸工学委員会ホームページ <http://www.coastal.jp/ja/>